

東由利村報

No. 12

行 村 場
發 東 由 役

型つけ 三五〇円
除草 男 II 二七〇〇
女 II 二五〇〇
畠仕事・雑手間
男 II 二五〇〇
女 II 二五〇〇

村道に八〇路線を認定

第四回 村議会定例会

第四回村議会定例会は五月四日午前九時より玉米支所においてひらかれました。

会議事件は次のとおりであります。

△村固定資産評価審査委員会の補欠委員選任につき同意を求めるについて

委員菅原鶴三郎氏が辞任したため補欠の委員に畠山友太郎氏(袖山)を選任

△村消防団員定数並に任免に関する条例の一部を改正する条例

団員定数「二百九十名」を「三百八十八名」として階級別定数を

分団長九名、副分団長九名本部員五名、消防団員二百八十五名にする

△村道認定について

道路法により八〇路線II総延長一六七、六五〇米を村道

△教育委員長に

嶽石氏

教委では改選後はじめての委員会を五月九日役場において開き、委員長に嶽石伊左武郎氏、副委員長に畠山伝二郎氏をそれく選任しました。

なお定例会は毎月上旬に開かれます。

山崎・島宮、公立消防団に

全九分団に増設される

村ではかねてより消防体制の強化をねらつて機械力等の装備

の充実と、地理的要件を備えている私立消防等の公立昇格を検討してきましたが、五月四日第四回村議会において村消防団員定数条例が改正になり、第三分団第三、四班(旧山崎私立)、島宮私立消防団が昇格して第八分団、第九分団を編成すること

になりました。

新分団の第八分団は手引動力ポンプ一台と団員三四名、第九分団は可搬式動力ポンプ一台と

団員一八名を擁しており、分団長及び副分団長に第八分団下田三太郎氏、莊野慶治氏、第九分団大日君一也氏、畠山田造氏が

五月五日それく発令されまし

た。

農業委員会では五月十一日午前九時半より役場会議室において改選後初の会議を開きました。

農業委員会長に

阿部(直氏)

五月十一日 改選後の初会議

自衛官(二次)募集

五月十日 防衛官(二次)募集

五月十日 受付期日

五月十日 満十八才以上二十五才未満

七月六日 試験期日

七月六日 七月二十日

優良農家

昭和三十一年九月一日現在で満十八才以上二十五才未満

五月十日 六月十五日

このほど本荘地区農業改良普及事務所より諏訪与市、佐々木三郎の二氏が普及員として着任し、本村農業改良事業の第一線にたつて指導して下さることになりました。

諏訪氏は下郷地区、佐々木氏は玉米地区を責任担当し、本府と支所にそれく勤務いたしております。

本村に普及員着任

このほど本荘地区農業改良普及事務所より諏訪与市、佐々木三郎の二氏が普及員として着任し、本村農業改良事業の第一線にたつて指導して下さることになりました。

諏訪氏は下郷地区、佐々木氏は玉米地区を責任担当し、本府と支所にそれく勤務いたして

(注)これらはいずれもまかないなしの賃金です。

▼田植の作業時間は午前六時半より十一時半、午後一時より六時までです。

農業委員会では五月十一日村ならびに農協、共済、耕耘機所有者、使用者側、労務者側の関係者を招いて労賃協定についての会合を開き、本村の春作業労賃を決しました。

【老方農協】五月三日改選(理事)長沢毅、小松徳太郎、小野治左工門、志村金之助、長谷山勇一郎、小笠原清一郎、小松鉄郎(監事)小松修造、畠山菊一、

畠山友一(監事)長沢毅、小松徳太郎、長谷山勇一郎、小笠原清一郎、小松鉄郎(監事)小松修造、畠山菊一、

農業共済組合 総代決

本村農業共済組合の総代選挙は五月十三日行われ、即日開票されましたが結果は次のとおりです。

【館合選出区】

遠藤博(27)・畠山耕作(22)・小松久一郎(22)・小松聖(21)・仙道信次郎(15)・小松与惣雄(14)・佐藤藤左工門(13)・高橋徳治郎(12)・遠藤信一郎(10)・渡辺要治郎(7)・投票率七四、五

【蔵選出区】

阿部善信(30)・小野作右工門(25)・小松健一郎(24)・伊藤幸吉(20)・畠山運治(16)・投票率七五、九

【宿選出区】

木島富次郎(6)・浅田民一郎(5)・小野民藏(4)・投票率五三、一

【カツコ内数字は得票数】

遠藤儀市(23)・小松福松(22)・小野佐一(19)・小松秀穂(18)・佐藤金藏(17)・佐藤昭一(17)・佐藤糧二(13)・佐藤長次郎(9)・投票率七五、九

佐々木直三郎(24)・佐々木直義(22)・畠山精次郎(21)・阿部喜(22)・畠山運治(16)・投票率九八、一

阿部清一郎(31)・遠藤直記(31)・阿部富三(21)・伊東勝一郎(16)・投票率九八、一

【法内選出区】

阿部清一郎(31)・遠藤直記(31)・阿部富三(21)・伊東勝一郎(16)・投票率九八、一

たは六ヶ月以上飼養しておる外生産のものですから、該当牛馬は全数出陳されますよう今より心掛けて飼養して下さい。

農繁期と栄養

今はいわゆる「猫の手もかりたい」農繁期です。農繁期には食事などをかえりみる余裕がなく、ご飯と味噌汁、漬物だけでは日が多い実情ですが、農繁期がすんではりつめていた気持がゆるむと胃腸病、カツケ、鳥目などのひそんでいた病気が頭をもたげ、思わぬ費用をかけるようになつたり、妊婦は流産とか早産などをしやすく、しかも乳の出方に影響するという喜ばれ聞いた住告小学校では、長い間父兄のたゆまぬ努力により村社神明社わきに使用有効面積六百平方米、観覧席ずきのりづばなグランドが完成しました。

この土地は佐藤文一郎、佐藤作太郎氏の所有で県開拓予定地投票率八二、七

【老方選出区】

畠山卓男(24)・畠山藤九郎(18)・投票率六七、三

【袖山選出区】

畠山卓男(24)・畠山藤九郎(18)・投票率六七、三

【田代選出区】

八島徳一郎(33)・佐藤徳四郎(22)・小松松二郎(19)・佐藤銀一郎(18)・鎌田養一郎(14)・畠山直一郎(10)・佐藤正一(9)・横山慶蔵(6)・投票率六七、三

六年間に地元民延二千名の奉仕

今まで正規のグランドをもたず狭い校庭で運動を余儀なくされていました。住告小学校では、長い間父兄のたゆまぬ努力により村社神明社わきに使用有効面積六百平方米、観覧席ずきのりづばなグランドが完成しました。

この計画を除外してもらつて前記二氏から払下をうけ、一部神明社の敷地を加えて昭和二十六年より工事に着手されたものであります。この間村補助として五万円人夫はすべて地元民の奉仕として延二千数名を数え、他雜費などを加えると総工費六十五万円に及ぶ工事でしたが、文字どうり父兄の苦闘が実を結んでこゝに六年こしの希望が実現したものです。

喜びの家族運動会

去る五月十六日の神明社祭典にはグランド開きをかねて家族

運動会が盛沢山のプログラムで開催され、これまでの努力をお互い感謝しあいながら喜びの一日をおくりました。

なお二期工事として現在の六百平方米(五〇×一二〇)を九百平方米(六〇×一五〇)に拡張、観覧席の整備などを計画しております。また今年小松豊吉氏より桜の苗木二〇本を寄贈されましたのでこれに加えて二百本の桜でグランドを飾ろうと楽しい計画もすゝめております。

六月二十二日は本村第一回目の畜産共進会を開催する予定であります。出陳資格は馬(明二才)牛(生後六ヶ月以上二十四ヶ月まで)の村内生産のもの、ま

するまでご飯を食べますが、これだけでは早く疲労し、胃の方でも参つてしまします。この場合油氣の多いものを食べると量は少くとも、脂肪は胃の運動をゆるやかにして胃の中に長く滞つてゐるから長い間空腹を感じません。また特に蛋白質と脂肪を多くとればとるほど食物は長く胃の中に滞つておるから食事も大量にとらなくて済みます。

蛋白質は人体の血とか肉を作る食物の中で一番大切なものです。

魚、肉類、豆、納豆、卵、牛乳などに多く入つています。もつとも手近なものではイワシに豊富に含まれているから、イワシミソ、油焼きなどにして大いに利用しましょう。

またふだん売つておる卵などは家族で食べるようになつたものです。

毎年食べる田植納豆や黄粉(きなこ)のお握り、イワシのこんぶ巻などは前に申したように大切な栄養分を備えているから味も栄養も申分ない食事となりります。

五月中にBHCガムマー%粉剤またはDDT乳剤二〇%の四百倍を坪当三 f 五合撒布する

【イネハモグリバエ】発生は昨年並の予想であり、イネハモグリバエとやう同じ時期に発生するからこれらと同時に防除できます。

六月二十二日は本村第一回目の畜産共進会を開催する予定であります。出陳資格は馬(明二才)牛(生後六ヶ月以上二十四ヶ月まで)の村内生産のもの、ま

たは六ヶ月以上飼養しておる外生産のものですから、該当牛馬は全数出陳されますよう今より心掛けて飼養して下さい。

産畜共進会

六月二十二日は本村第一回目の畜産共進会を開催する予定であります。出陳資格は馬(明二才)牛(生後六ヶ月以上二十四ヶ月まで)の村内生産のもの、ま